

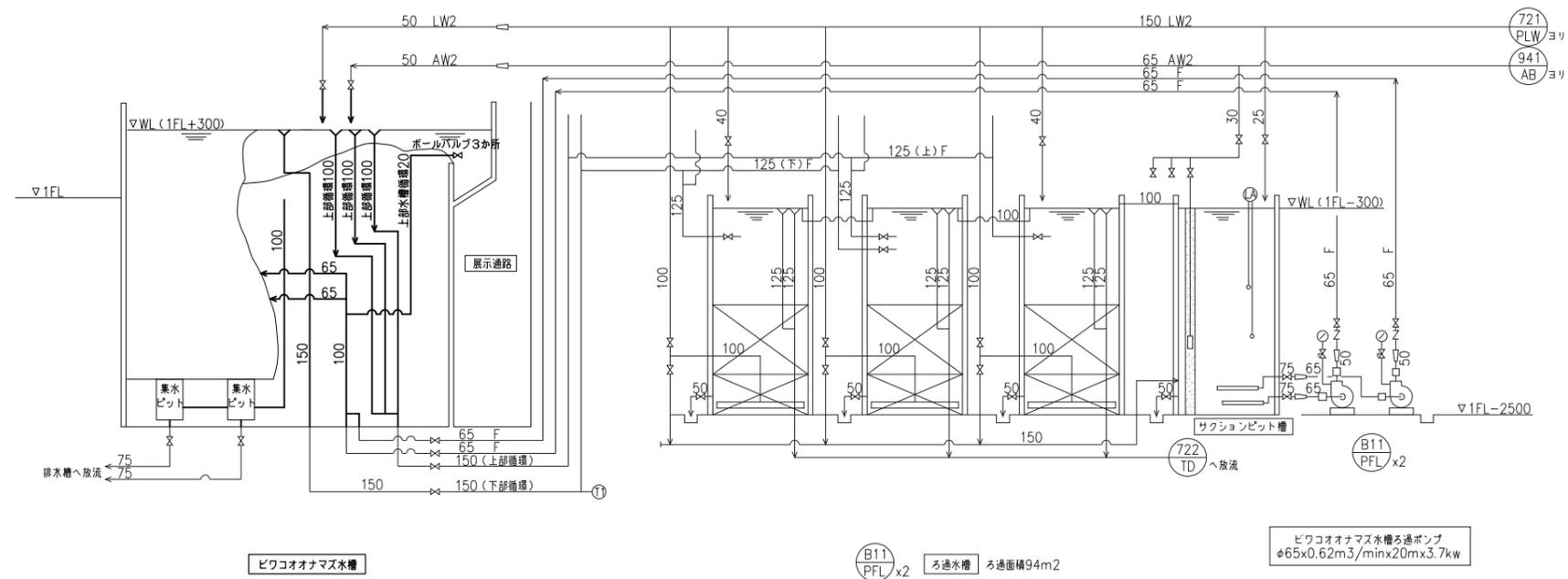
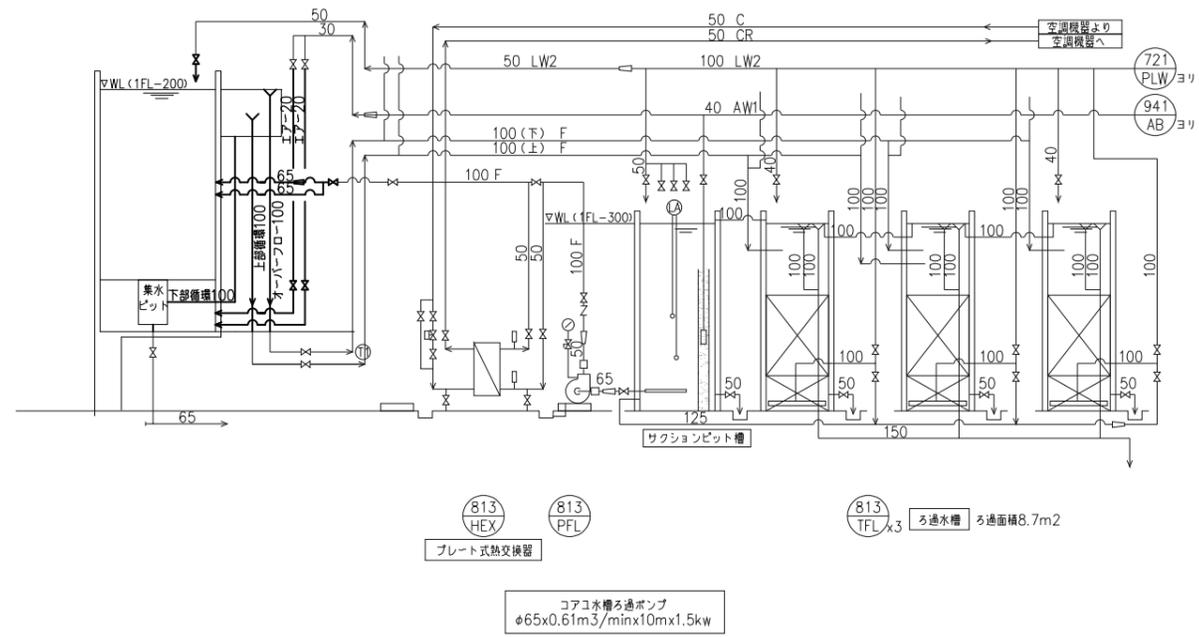
項目	特記事項
1. ダクトの種類	(1) 区分 ● 低圧ダクト ○ 高圧ダクト (○ 高圧1 ○ 高圧2:適用範囲は図示による) (2) 工法 ○ アングルフランジ工法 ● コーナーボルト工法 (○ 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法)
2. ダクトの材質	(1) 長方形ダクト ● 垂鉛鉄板製 (板厚1.5mm以上は鋼板製) ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融アルミニウム-垂鉛鉄板製 ○ 塩化ビニルライニング鋼板製 ○ グラスウール製 ○ 硬質塩化ビニル製 ○ 垂鉛鉄板製以外の適用箇所は図示による。 (2) 円形ダクト ● 垂鉛鉄板製 ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融アルミニウム-垂鉛鉄板製 ○ 塩化ビニルライニング鋼板製 ○ グラスウール製 ○ 硬質塩化ビニル製 ○ 垂鉛鉄板製以外の適用箇所は図示による。
3. 計測機器	温度計取付部は下記による。 ○ 空気調和機 (パッケージ形 ○含む) のサブライダクト、リタナダクト、 外気取り入れダクトおよびチャンパー
4. 風量測定口	風量測定口は下記の部分に取付とする。 ○ 送風機吐出ダクトまたは吸込みダクト ○ 外気取り入れダクト ○ 空気調和機出口チャンパーの分岐ダクト ○
5. チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取付けるサブライ・リタナチャンパー・風道系で消音内貼りしたチャンパーは点検口を設ける。点検口の大きさは監督職員の指示による。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けするチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
6. ダンパー	(1) 防塵ダンパー 復帰方式 (○ 遠隔 ○ 手動) 定格入力は0.024V、0.7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (○ 遠隔 ○ 手動) (3) VAV (○ 機械式 ○ 電気式) (4) OAV (○ 機械式 ○ 電気式) (5) 材質 用途 (○ 屋外設置 ○ 外気 ○ 特殊排気 ○) 外板、羽根 (○ ステンレス鋼板 ○ ガルバリウム鋼板) 軸、軸受、連結 (○ ステンレス鋼板 ○)
7. 保温及び消音内貼り	標準仕様書第2編3.1.4および3.1.6によるほか、下記による。 ● 透りダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
8. 特記事項	
1. 弁類	(1) 呼び径50A以下の弁類 ○ 青銅製 ○ ステンレス鋼製 (ステンレス鋼管接続部) (2) 呼び径65A以上の弁類 ○ 鋼製 ○ ステンレス鋼製 (ステンレス鋼管接続部) (3) 弁類の耐圧 JIS (○ 5K ○ 10K ○) (4) 鋼管用伸縮継ぎ手の種類は図示による。
2. 計測機器	(1) 標準仕様書による (温度計取付部は下記を代表とする) ・ 空気調和機の冷温水管の出入口配管 ・ 冷温水ヘッダー (往・還) の出入口 ・ 熱交換器の出入口配管 (2) 圧力計は温度計の当該項目による。
3. 瞬間流量計	瞬間流量計はビーター管方式のもので止水コック付とし、形式及び取付部は下記による。 また、看形形の指示は (40A用 個 100A用 個 250A用 個) 附属とする。 ○ 熱源機器 (冷温水機・冷凍機・ボイラーなど) の出口配管側 (○ 固定形 ○ 看形形) ○ 空気調和機の出口または入口側の冷温水管 (○ 固定形 ○ 看形形) ○ 冷温水ヘッダー (往・還) の出入口 (○ 固定形 ○ 看形形) ○ (○ 固定形 ○ 看形形)
4. 油面制御装置	制御盤には (○ 給油ポンプ制御 ○ 返油ポンプ制御 ○ 満油、減油警報 ○ 遠隔警報) の端子を設ける。
5. 絶縁継手	異種管の接合において鋼管とステンレス鋼管又は鋼管と鋼管の接合部には絶縁フランジを設ける。 但し、機器の接続において鋼とステンレス又は鋼と鋼は絶縁ユニオン等の異種金属接続用継手としてもよい。
6. 保温	標準仕様書第2編3.1.4および3.1.6によるほか、下記による。 ○ 脚案タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 空気調和機及びファンコイルの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
7. 特記事項	
1. ダクトの種類	(1) 区分 ○ 低圧ダクト ○ 高圧ダクト (○ 高圧1 ○ 高圧2:適用範囲は図示による) (2) 工法 ○ アングルフランジ工法 ● コーナーボルト工法 (○ 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法)
2. ダクトの材質	(1) 長方形ダクト ○ 垂鉛鉄板製 (板厚1.5mm以上は鋼板製) ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融アルミニウム-垂鉛鉄板製 ○ 塩化ビニルライニング鋼板製 ○ グラスウール製 ○ 硬質塩化ビニル製 ○ 垂鉛鉄板製以外の適用箇所は図示による。 (2) 円形ダクト ○ 垂鉛鉄板製 ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融アルミニウム-垂鉛鉄板製 ○ 塩化ビニルライニング鋼板製 ○ グラスウール製 ○ 硬質塩化ビニル製 ○ 垂鉛鉄板製以外の適用箇所は図示による。
3. 厨房用フード材質	○ ステンレス製 ○
4. 風量測定口	風量測定口は下記の部分に取付とする。 ○ 送風機吐出ダクトまたは吸込みダクト ○ 外気取り入れダクト
5. チャンパー	空気調和設備の当該項目による。
6. ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
7. 保温	下記のダクトの保温を行う。 ○ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、外気側給排ダクト) 給排ダクト (保温の厚さ25mm) 給排ダクト: 外壁より1.5m以内の部分 ○ (○ 厨房 ○ 湯沸室 ○) 用の暖い部ダクトは標準仕様書第2編 3.1.4および3.1.6の排気管の項により保温を行う。
8. フィルター	○ フレドロン ○ 中性炭 ○ 高性能 ○ HEPA ○ 活性炭 ○ ケミカル
9. その他	(1) 厨房系統の長方形排気ダクトは、標準仕様書より一番厚いものを使用する。(リブなし) (2) 給室 (シャワー室、脱衣室を含む) 及び厨房の排気ダクト系統にはシールを施す。 (3) 厨房系統の排気ダクトは、ダクト内の点検可能な措置を講じる。 (4) 必要箇所には水抜きを設けること。
10. 特記事項	○ 当該敷地の外気CO2濃度を測定し、外気量 (25m ³ /h・人) の妥当性を検証すること。 ○ 耐火ダクト (鋼板1.5mm以上、断熱材 ○ RW50mm ○ RW25mm ○)

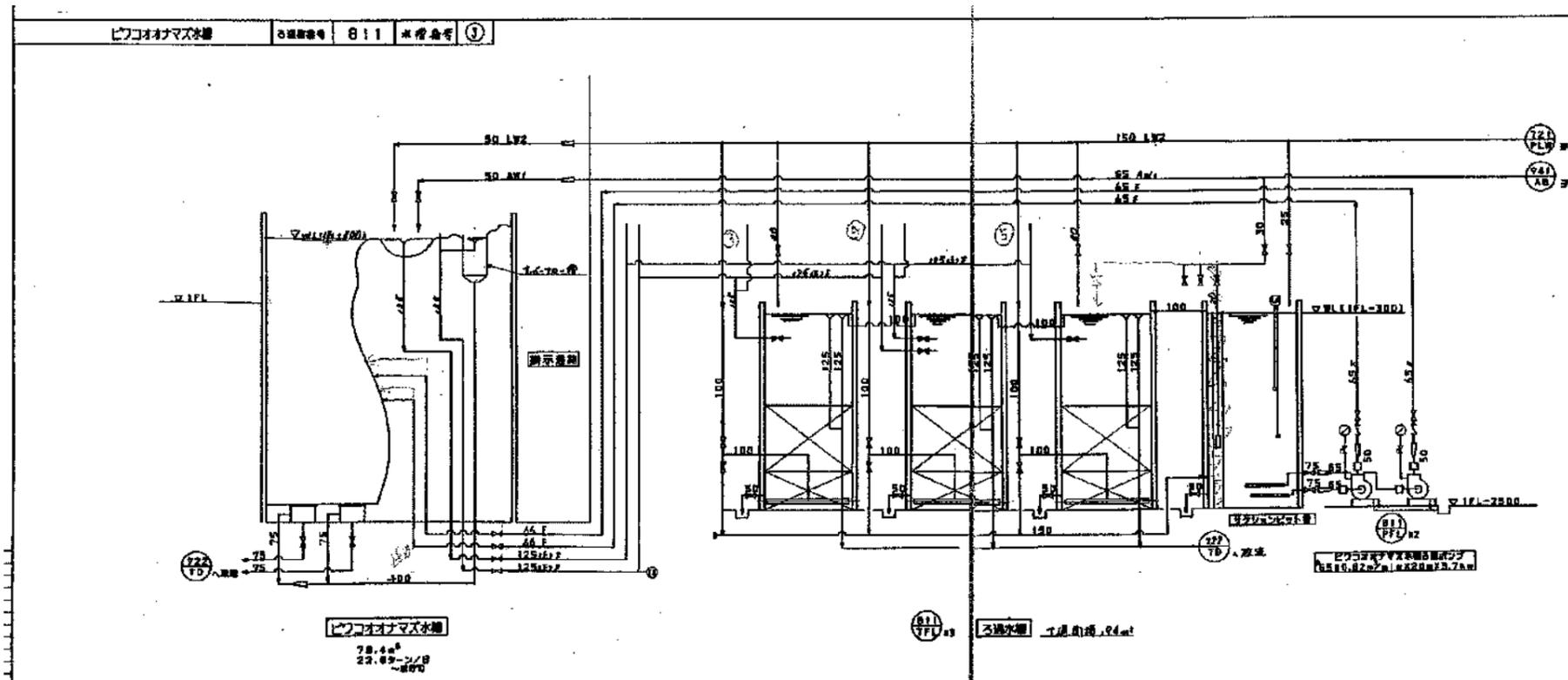
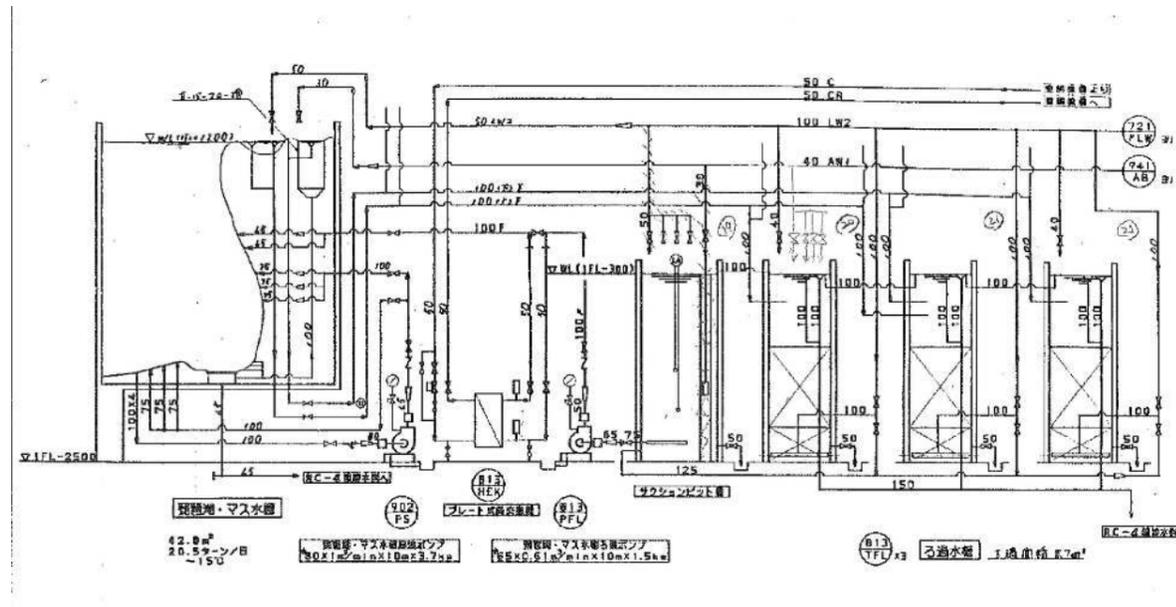
項目	特記事項
1. ダクトの種類	(1) 区分 ○ 低圧ダクト ○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト (2) 工法 ○ アングルフランジ工法 ○ コーナーボルト工法
2. ダクトの材質	○ 垂鉛鉄板製 (板厚1.5mm以上は鋼板製) ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融アルミニウム-垂鉛鉄板製
3. 排煙口の形式	○ 天井取付付 (○ スリット形 ○ スイング形) ○ 壁取付付 (○ スリット形 ○) ○ 排煙ダンパー
4. 手動開放装置	○ ワイヤー式 ○ 電気式 (遠隔操作 ○あり)
5. 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。
6. 特記事項	
1. 制御方式	○ 電気式 ○ 電子式 ○ デジタル式 ○ 空気式
2. 中央監視盤	○ 本工事 ○ 別途工事
3. 特記事項	メーカー差異による金額の増減は行わない。
第3章 給排水衛生設備	
項目	特記事項
1. 大便器	○ フラッシュ弁 (○ バキュームプレーク付 ○ 節水型) ○ 洗浄タンク (○ 防臭型 ○ 密閉型 ○) ○ フラッシュタンク
2. 小便器	○ フラッシュ弁 (○ 標準型 ○ センサー感知型 ○) ○ センサー電源方式 (○ 電気式 ○ 電池式)
3. 身障用器具	○あり (図示による)
4. 凍結防止	○要 (図示による)
5. 特記事項	○ 衛生器具の色等は、(○ 現場指示 ○ 標準)とする。 ○ 手摺 (○ 本工事 ○ 建築工事) ○ ベビージェット (○ 本工事 ○ 建築工事) ○ 洗面化粧台 (○ 本工事 ○ 建築工事) ○ 流し台 (○ 本工事 ○ 建築工事)
1. 給水方式	(1) 直圧給水方式 ○ 公共水道直結式 ○ 増圧直結方式 (2) 加圧給水方式 ○ 圧力タンク方式 ○ 加圧ポンプ給水装置方式 (3) 重力給水方式 ○ 高築水塔重力方式
2. 量水器及び計	(1) 量水器 ○ 観メーター (○ 貸与品 ○) ○ 子メーター (○ 買取り ○) (2) 量水器 ○ 水道事業者指定品 (○ 貸与品 ○ 買取り) ○ 標準器M/C形
3. 弁類	(1) 呼び径50A以下の弁類 ○ 青銅製 (鉛レス) ○ ステンレス鋼製 (ステンレス鋼管接続部) (2) 呼び径65A以上の弁類 ○ 鋼製ライニング弁 ○ ステンレス鋼製 (ステンレス鋼管接続部) (3) 衝撃吸収式逆止弁 ○ ライニング (○ 必要 ○ 不要) (4) 弁類の耐圧 JIS (○ 5K ○ 10K ○) ○ 水道事業者指定品の使用範囲: ○ その他部分 JIS (○ 5K ○ 10K ○)
4. 水栓柱	(1) 材質 ○ 合成樹脂製 ○ 人造とぎし製 ○ コンクリート製 ○ SUS製 (2) 水栓柱を使用する場合、水栓は吊りこま式とする。 ○ 標準器 (○ a ○ b ○ c) ○ 埋設用フレキ
5. 建物導入部配管	○ 標準器 (○ a ○ b ○ c) ○ 埋設用フレキ
6. 引込納付金等	○ 要 (○ 本工事 ○ 別途工事)
7. 特記事項	(1) 量水器及び弁類のコンクリート部は工場製品としてよい。 (2) 埋設給水本管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置が必要箇所及び方法は図示による。
1. 排水方式	(1) 汚水・雑排水 屋内 (○ 分流式 ○ 合流式 ○ 集合管式) 屋外 (○ 分流式 ○ 合流式 ○) (2) 雨水 屋外 ○ 別途工事 屋内 ● 別途工事 (3) 建物外放流先 汚水 ○ 公共下水管 ○ 浄化槽 (○ 側溝 ○ 水路 ○) 雑排水 ○ 公共下水管 ○ 浄化槽 (○ 側溝 ○ 水路 ○) 雨水 ○ 公共下水管 ○ 公共雨水管 ○ 水路 (4) 特殊排水処理装置 ○ 厨房除油設備 ○ 中和処理設備 ○
2. 弁類	(1) 呼び径50A以下の弁類は青銅製とし、65A以上は鋼製とする。 (2) 弁類の耐圧 JIS (○ 5K ○ 10K ○)
3. 洗面器の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。
4. インバート・ため枀	(1) 材質 ○ コンクリート枀 ○ プラスチック枀 (2) 枀のコンクリート部は工場製品としてよい。
5. 放流納付金等	○ 要 (○ 本工事 ○ 別途工事)
6. 特記事項	(1) 屋外排水は1/100勾配を原則とする。 (2) ○ 建物導入部配管は、埋設用フレキを使用する。 (3) 排水過気金の位置は、開口上部0.6m又は、水平3.0m以上の離隔をとること。 (4) 湯水継手を適宜設置すること。
1. 給湯方式	○ 中央式 ○ 局所式 (○ ガス ○ 電気)
2. 絶縁継手	異種管の接合において鋼管とステンレス鋼管又は鋼管と鋼管の接合部には絶縁フランジを設ける。 但し、機器の接続において鋼とステンレス又は鋼と鋼は絶縁ユニオン等の異種金属接続用継手としてもよい。
3. 弁類	(1) 呼び径50A以下の弁類 ○ 青銅製 (鉛レス) ○ ステンレス鋼製 (2) 呼び径65A以上の弁類 ○ 鋼製ライニング弁 ○ ステンレス鋼製 (3) 弁類の耐圧 JIS (○ 5K ○ 10K ○) ○ 水道事業者指定品の使用範囲: ○ その他部分 JIS (○ 5K ○ 10K ○)
4. 特記事項	(1) 機器の取付用止り具は、建築基準法施行令第129条の2の3第2号及び同令に 基づき告示 (平成24年国土交通省告示第1447号) の定めによる。 (2) 電気温水器の排水は、圏外排水でトラップ付とする。

項目	特記事項				
1. 消火設備の種類	○ 消火器 (○ 本工事 ○ 別途工事) ○ 屋内消火栓設備 (○ 1号 ○ 易操作性1号 ○ 2号 ○ 広範囲2号) ○ スプリンクラー設備 ○ 閉鎖型 ○ 開放型 ○ 放水型) ○ 屋外消火栓設備 ○ 泡消火設備 ○ 粉末消火設備 (○ 固定式 ○ 移動式) ○ 連結送水管設備 (○ 湿式 ○ 乾式) ○ 連結給水設備 ○ 採水口設備 ○ ダクト消火設備 ○ ガス消火設備 (○ 二酸化炭素 ○ 窒素ガス ○)				
2. 保温	○ 屋外露出配管は標準仕様書第2編3.1.5 e2・(ハ)・電による保温を行う。 但し、防凍保温は一般事項による。				
3. 建物導入部配管	○ 標準器 (○ a ○ b ○ c)				
4. 特別申請適用の有無	○あり ()				
5. 特記事項	○ 『スプリンクラー設備等の耐震処置に関するガイドライン』(平成30年5月11日消防第361号) に基づき施工すること。				
1. ガスの種類	○ 都市ガス (ガス種別: 発熱量: MJ/Nm ³ ○ 低圧 ○ 中圧) 施工はガス会社の責任施工とする。 ○ プロパンガス				
2. ガス漏れ警報機	○あり (○ 本工事 ○ 別途工事) ○ 外部出力端子 (○あり ○無)				
3. 漏洩検知装置	○要				
4. 引込負担金等	○要 (○ 本工事 ○ 別途工事)				
5. ガバナー設備の有無	○あり (○ 専用ガバナー ○ 地区ガバナー)				
6. 特記事項					
1. さく井工事	さく井工法 ○ パーカッション式 ○ ローターリー ○ ダウンザホールハンマ式 ○ 回転駆動式 ○ ローターパーカッション式 ケーシング ○ 配管用炭素鋼管 (黒) ○ 配管用ステンレス鋼管				
2. 水中ポンプ位置	GL m付近とする。				
3. 弁類	(1) 呼び径50A以下は青銅製とし、65A以上は鋼製とする。 (2) 弁類の耐圧 JIS (○ 5K ○ 10K ○)				
4. 特記事項	○ 水質検査を行う (項目+残留塩素) 電気検漏 ○ 連続測定 (標準) ○ スポット測定				
1. 処理方式	○ 合併処理 ○ 図示				
2. 処理能力	○ 処理対象人員 (人) ○ 処理水量 (m ³ /日)				
3. 放流水質	○ 処理水質 BOD PPM P PPM COD PPM N PPM SS PPM				
4. 特記事項	○ 浄化槽法第7条 申請費用 ○ 本工事 ○ 別途工事				
1. 配管材料	(1) 吸引配管 ○ カラーパイプ ○ 配管用炭素鋼管 (白) (2) 余剰経路排水排出管 ○ カラーパイプ ○ 配管用炭素鋼管 (白)				
2. 空気の実験	○ する その他機材、施工及び試験については、標準仕様書による。				
3. 特記事項					
1 特記事項	(1) 既設配管との取り合い点に関しては現地調査を行うこと (2) 新設配管に関しては配管用途、流れ方向を明記すること (3) 新設配管に関しては展示工事報告書との位置関係を行うこと				
1 特記事項	(1) コージェネレーション装置の試験において (○ 気密試験または漏水試験 ○ 安全試験) を行う。 (2) コージェネレーション装置の排気管・排気ダクトの保温材は (○ ロックウール保温材 ○ けい酸カルシウム保温材) とし、保温材の厚さは75mmとする。 なお、けい酸カルシウム保温材はJIS A9510 無織多孔質保温材による。				
第4章 配管材料					
管材記号	管 材 名 称	管材記号	管 材 名 称	管材記号	管 材 名 称
SGP-0	配管用炭素鋼管 (JIS G 3452)	パイロン被覆鋼管 (JIS G 3452 (原管))	TP (大径認定品)	耐火二層管 (JIS K 6741 (原管))	
SGPW	水道用垂れつき鋼管 (JIS G 3442)	TPD 一般配管用ステンレス管 (SUS 304, 314)	TPRF (大径認定品)	耐火二層管 (JIS K 9798 (原管))	
STPG 370/Sch40-B/黒	圧力配管用炭素鋼管 (JIS G 3454)	CUP 鋼及び鋼合金の黒目無管 (Mタイプ厚) (JIS H 3300)	PP	水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	
SGP-VA/VB/VD	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116)	保潔付被覆鋼管 JCDA 0008	PE (水)	水道配水用ポリエチレン管 (JIS K 144)	
SGP-FVA/FVB/FVD	ファンコイル用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (WSP 011)	断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009)	PE (G)	ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)	
SGP-PA/PB/PD	水道用ポリエチレン熱体ライニング鋼管 (JWWA K 132)	D3 水道用ダクタイル鉄管 (JWWA G 113)	水適用架橋ポリエチレン管 (付帯型ゲージ式)	水道用架橋ポリエチレン管 (JIS K 6787)	
SGP-RPA/RPB/RPD	ファンコイル用熱体ライニング鋼管 (WSP 039)	LP 排水・通気用鉛管 (SHASE-S203)	水適用ポリプロピレン管 (付帯型ゲージ式)	水道用ポリプロピレン管 (JIS K 6792)	
SGP-HVA	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 140)	SGP-VS/SPG30S/SH-H/黒	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041)	VW/HIVP 水道用硬質塩化ビニル管 (JIS K 6742)	HPPE (水) 給水用硬質塩化ビニル管 (PWAD05)
SGP-PS/SPG30PS/SH-H/黒	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 044)	VP/VU 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741)	HPPE (清) 耐火ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776)	耐火ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776)	耐火ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776)
D-VA	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (WSP 042)	HTVP 耐火性硬質塩化ビニル管 (JIS K 6798)	HP (清) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル二層管 (JIS K 9797)	HP 導心線筋コンクリート管 (外径1種) (JIS A 5372)	
SGP-NTA	排水用ソケットエレボキシ塗装鋼管 (WSP 032)	RF-VP リサイクル硬質ポリ塩化ビニル二層管 (JIS K 9797)	REP-VU 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (AS 58)		
PLP/PLS	ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469)	RS-VU リサイクル硬質ポリ塩化ビニル二層管 (JIS K 9797)			
PLV	塩化ビニル被覆鋼管 (JIS G 3452 (原管))	REP-VU 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (AS 58)			
特記事項	1) 内面ライニング鋼管のねじ接続は、普通防食管継手を使用する。 2) 冷媒管及び電線管の防火区画貫通部は、国土交通省の認定工法による処置を行う。				

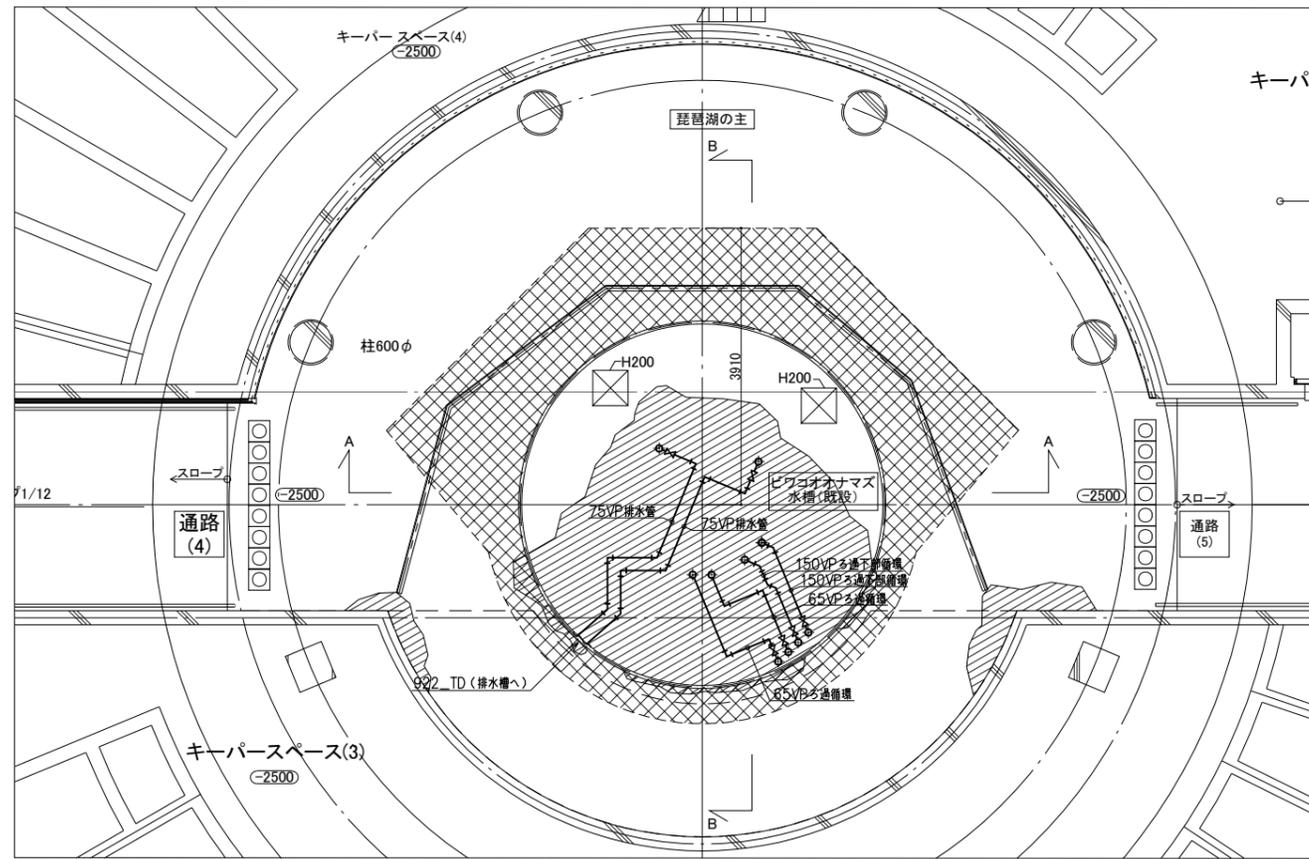
配管材料表	給水 (上水)		給水 (雑用水)		排 水		消 火		給 湯		空 気		冷 却		油		ろ 過		備 考	
	引込	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内		
SGP-0																				
SGP-黒																				
SGPW																				
STPG 370/Sch40-B/黒																				
STPG 370/Sch40-B/黒																				
SGP-VA																				
SGP-FVA																				
SGP-VB																				
SGP-FVB																				
SGP-VD																				
SGP-FVD																				
SGP-PA																				
SGP-RPA																				
SGP-HVA																				
SGP-PS																				
SGP30PS/SH-H/黒																				
D-VA																				
SGP-NTA																				
PLP/PLS																				
PLV																				
備 考	* 屋内消火栓機: 屋外消火栓、スプリンクラー、泡消火、連結散水機																			







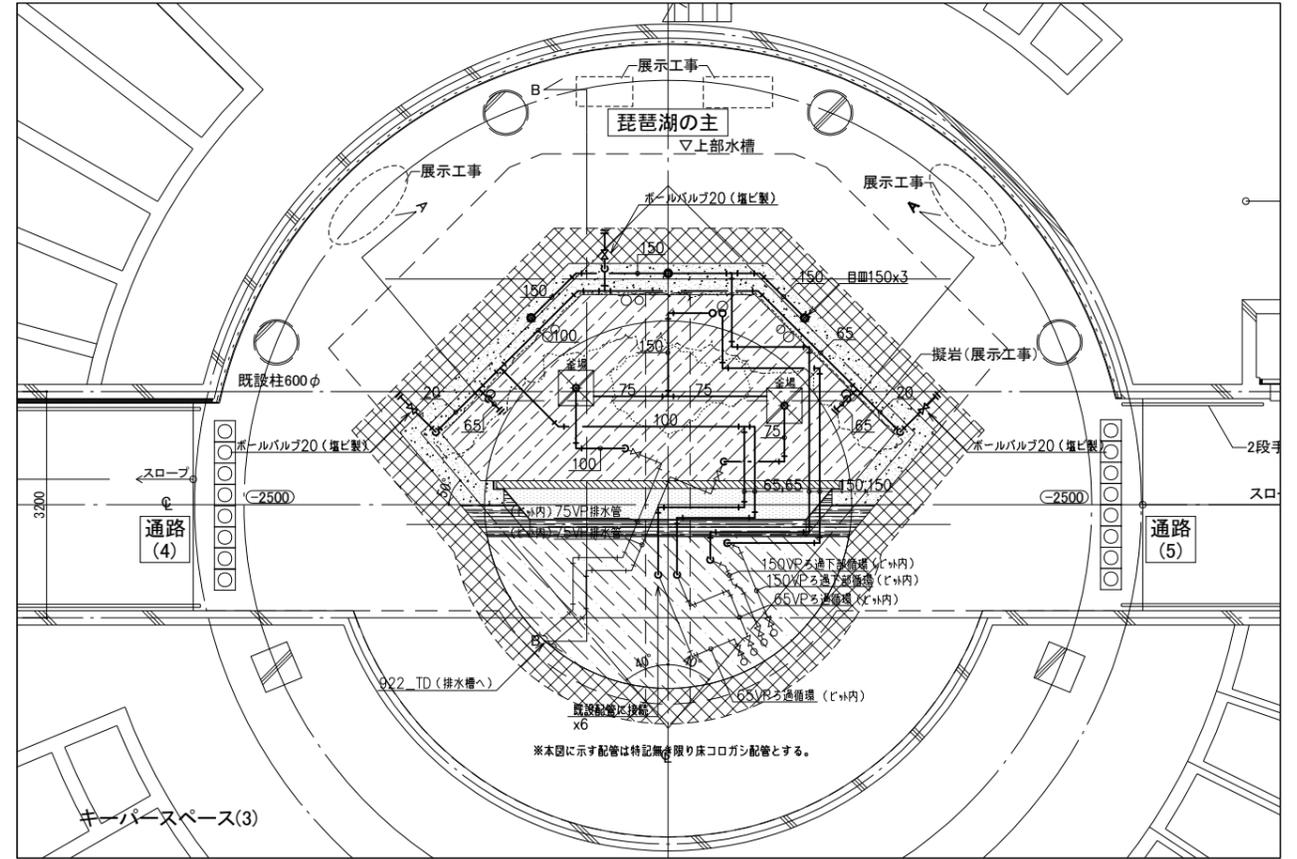
現況図



ピット階平面図
＜現況図＞

(凡例)
✕ ✕ 撤去を示す

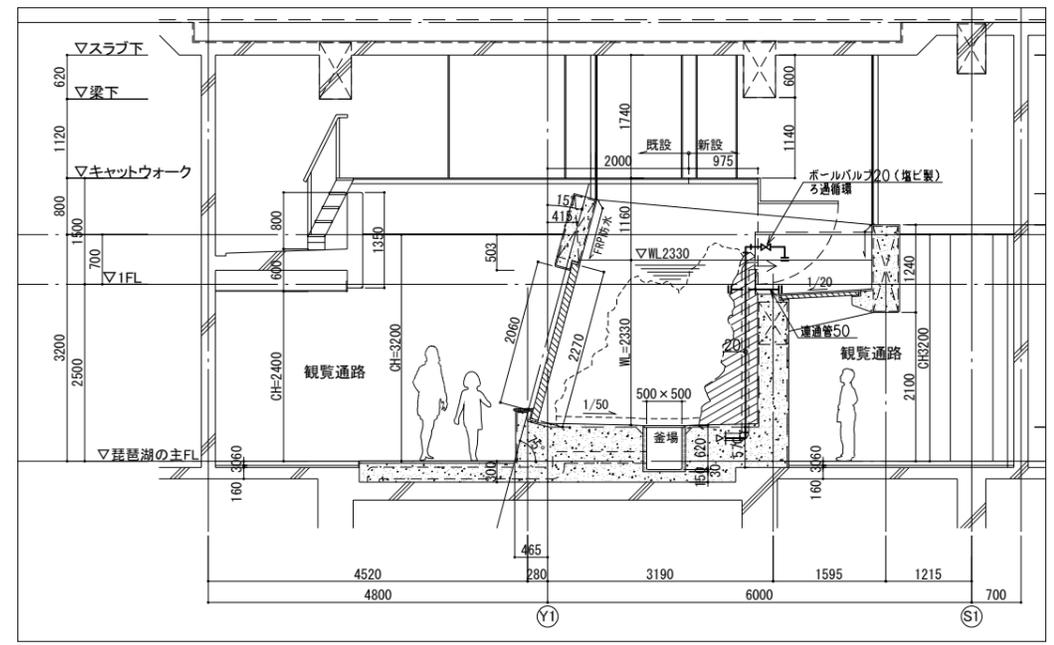
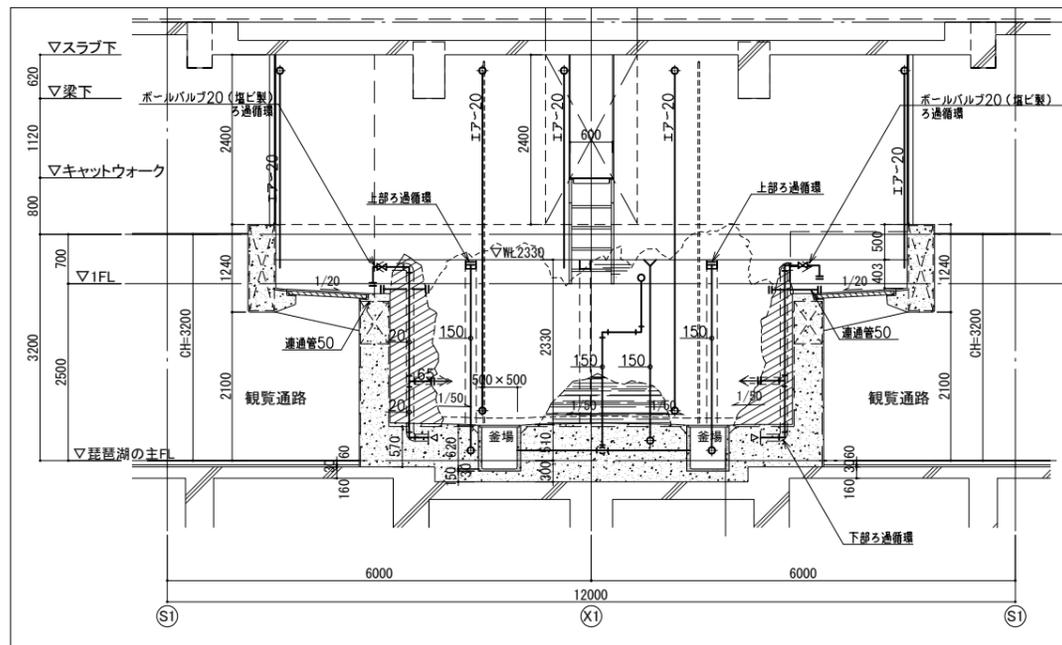
改修図



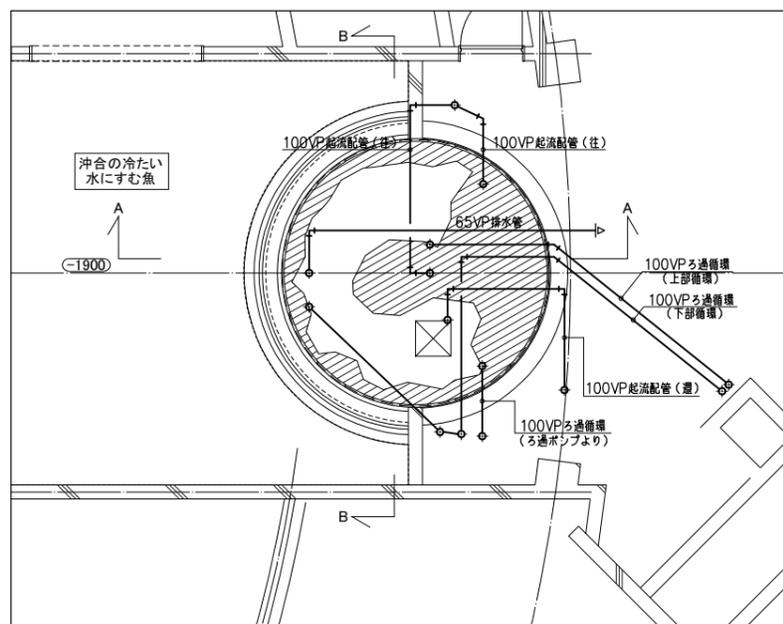
1階平面図
＜改修図＞

(凡例)
— (太線) 新設を示す
— (細線) 既設を示す
— 既設へ接続を示す

改修後 ピワコオナマズ水槽廻り 断面図

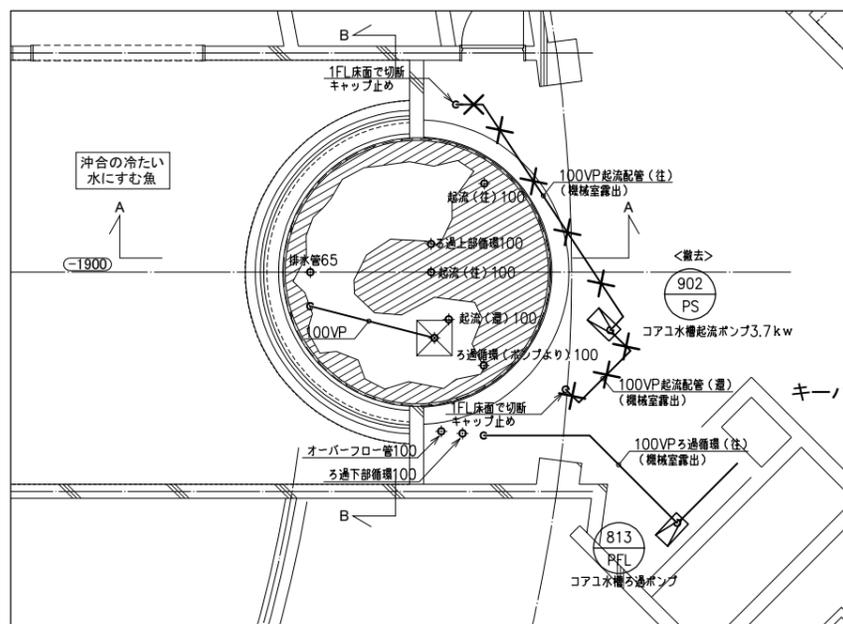


現況図



ピット階平面図
〈現況図〉

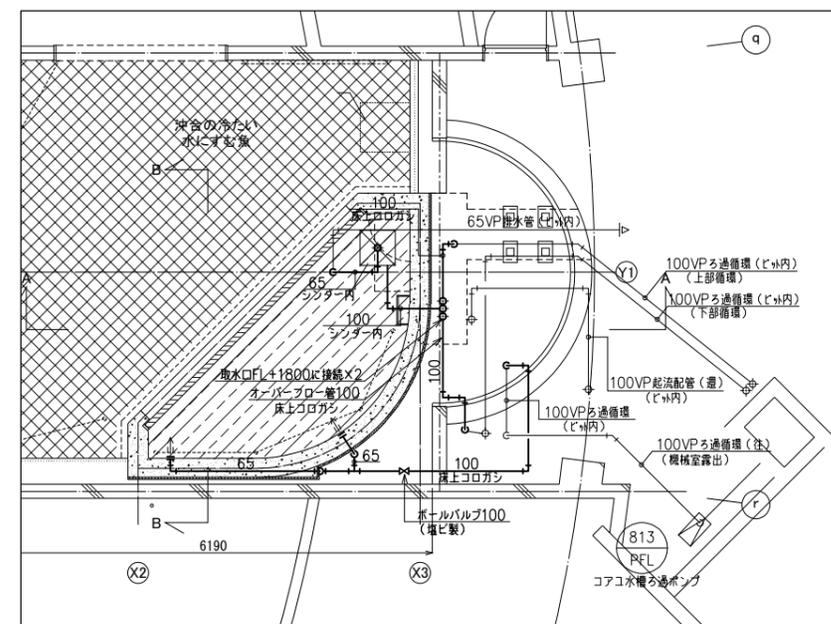
撤去図



1階平面図
〈撤去図〉

(凡例)
-X-X- 撤去を示す

改修図



1階平面図
〈改修図〉

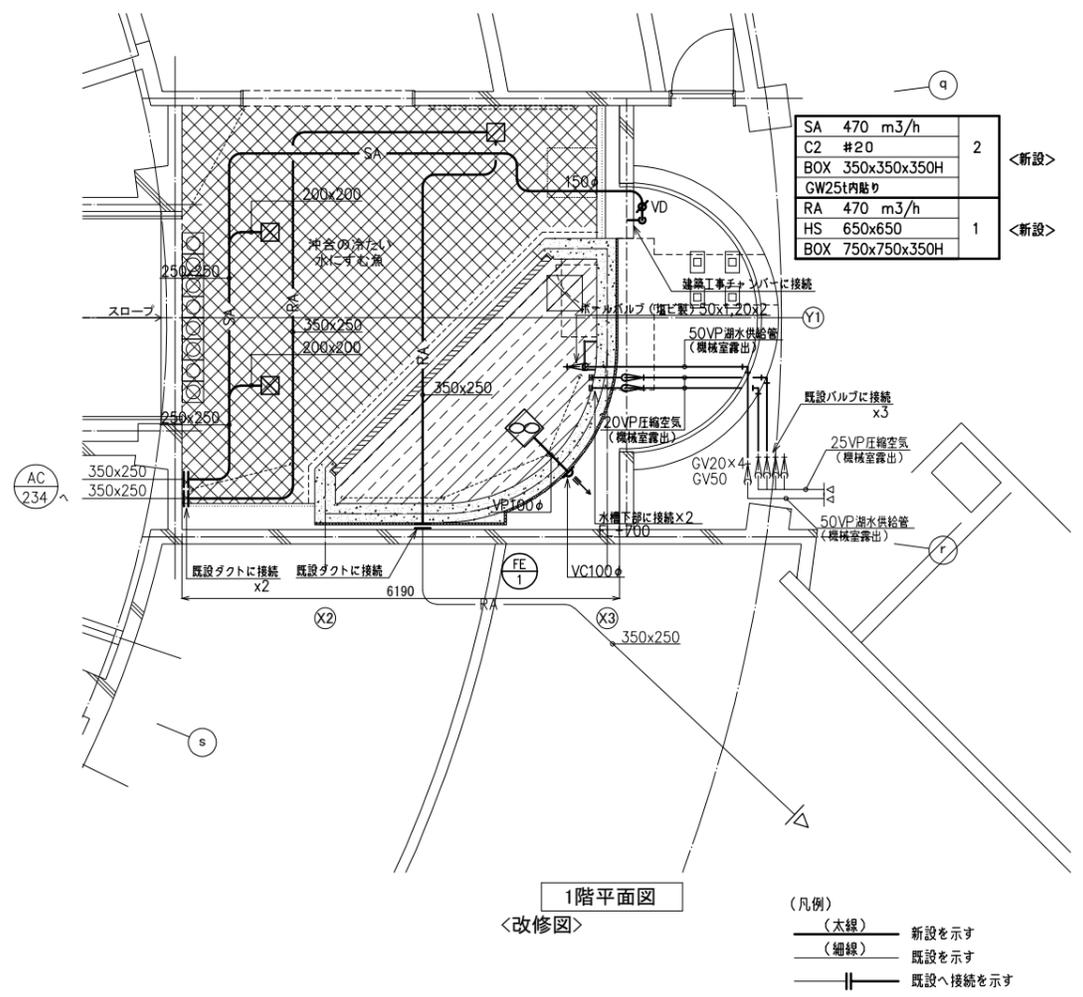
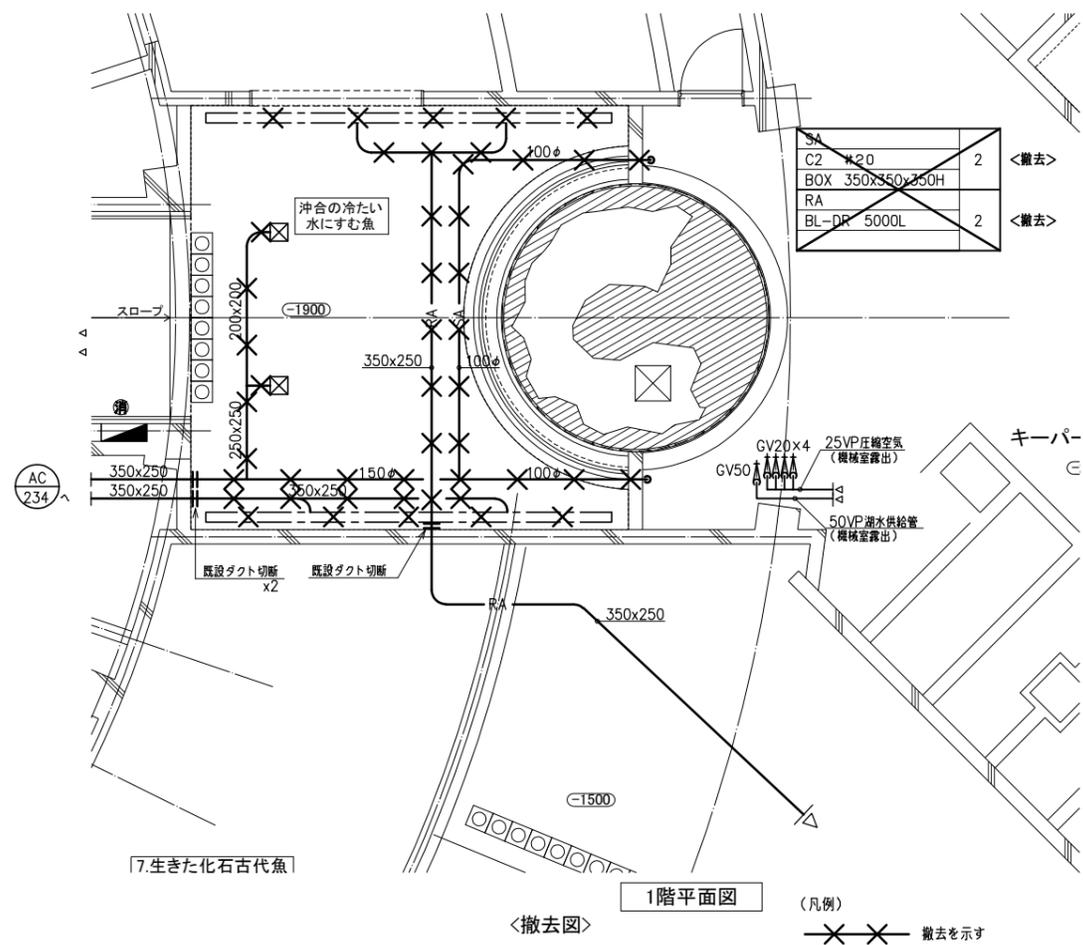
(凡例)
 (太線) 新設を示す
 (細線) 既設を示す
 || 既設へ接続を示す
 (特記)
 ・ 图中、シンダー内配管以外の新設配管は保温を行う事。

竣工年月日	...
監理者印	...
施工者印	...

技にこころを	DATE	PROJ. NO	0-2024-006	PROJ. TITLE	機城
株式会社 大建設	CHECK			機城立寄管理用機城ピロオオナズ水櫃およびコアユ水櫃新設設計書	
一級建築士事務所 大阪府知事登録 第(シ)404号				DWG. TITLE お設機 幼アユ水櫃1階平面図	DWG. NO M-06
				SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)	

撤去図

改修図



<新設 換気設備 機器表>

機器番号	機器名称	機器形式	番手	処理風量	機外静圧	電気容量 (出力)	付属品		台数	設置場所	備考
							室内リモコン	設置			
FE-1	排気ファン	低騒音形天井扇 プラスチックボディ	100φ	100	20	1-100 30	-	-	1	1階 幼アユ水槽	

(注記)1.電気容量は参考とする。